

ボードフェロープログラム第2期（2022年度） 企業・個人参加者の募集

～社会にインパクトをもたらすリーダーシップを発揮する～

第2期テーマ「多様な生き方やライフステージに合わせて、一人ひとりが社会で活躍し続けられる女性の働き方」

一般社団法人World in You

2022年6月

World in Youは「世界の誰でも どこからでも より良い社会づくりに力を発揮しあう世界」を目指し、非営利組織、企業、ビジネスリーダーに、より良い社会を目指して共創する体験型学びの機会を提供してきました。

「[ボードフェロープログラム](#)」は、ビジネスリーダーと非営利組織の経営陣が社会課題解決事業の経営について本質的な議論・協働を通じて、社会にインパクトをもたらすリーダーシップを磨く、6か月間の実践・体験型プログラムです。本プログラムの実践を通じ以下のニーズの解決を目指します。

- **社会の課題解決**：複雑な社会課題を解決するためには、多様なセクターが主体的に互いの視点・経験・リソースなどを活かし合うことが不可欠である。
- **企業の成長**：持続可能な経営のためには、社会における企業の存在意義が問われている。事業アイデア、インパクトを創出するには、社会課題を捉え、ソーシャルセクターと本質的な協働をすることが求められている。
- **個人の成長**：人生100年時代、働き方や生き方が多様化する中で、活躍し続け社会に貢献し続けるには、目の前の仕事や関係性に留まらず、多様な価値観や立場の人と協働することが大事である。

「ボードフェロープログラム」の特徴

- 参加者が参加団体のボードメンバーになった想定で、団体のリーダーたちと共に、彼らがリアルに向き合っている課題を議論します。多様な参加者の視点や経験を団体の成長のために活かし、プログラム後も続くつながりを育みます。
- 体系的にソーシャルセクターの経営やガバナンスについて学びます。ガバナンスと聞くと統治や管理監督をイメージする方も多いですが、ボードをはじめとするガバナンスの仕組みは、単に不正を防ぎリスクをマネジメントするだけでなく、より良い社会づくりに人々が力を発揮しあう場・メカニズムとして重要です。（参考：『[非営利組織のガバナンス](#)』山本未生／World in You (WIT)訳、英治出版、2020年）

- 2022年度は「多様な生き方やライフステージに合わせて、一人ひとりが社会で活躍し続けられる女性の働き方」に取り組む団体に焦点をあてます。ジェンダーギャップが世界で最下位レベルの日本において、育児、介護、転勤などにより主に女性に負担がかかる傾向がある中、組織やセクターを越えた共創関係を通じて取り組みを加速させていくことが大切です。

2022年度 参加団体

3団体から経営を担うメンバーが3名ずつ参加します。

- [特定非営利活動法人 Arrow Arrow](#)
- [非営利型株式会社 Polaris](#)
- [NPO法人ママワーク研究所](#)・[Work Step株式会社](#)（グループ会社として参加）



2022年度 参加者（個人・企業派遣含む）

募集人数： 15名程度

企業やその他セクターのリーダー（企業派遣・個人参加が可能）を募集しています。また、企業や個人スポンサーという形でプログラムを応援していただくことも可能です。詳細は本資料をご覧ください。

参加企業や個人の参加者像：

- 自分の想いや経験を活かし、参加団体のミッションに貢献したいと考えている。
- 社会変革や団体が掲げるビジョンやミッションに対して当事者意識を持ち臨める。
- 意思決定する立場や事業のリーダーの経験がある。（企業・団体・事業・部署の責任者、行政の役人、現在もしくは今後理事を検討している方など）

* 2021年度参加者の例：経営者、大手企業サステナビリティ/CSR部長、次期役員候補、新規事業企画者、弁護士、大学教授、非営利団体の代表など

本プログラムから得られること

企業や多様なセクターからの参加者：

社会課題を自分ごととして捉え、非営利団体の実態を知り、組織外で自らの力を活かすことを通じて、社会に開かれたリーダーとして成長・貢献する機会を得られます。

学び：

- ・非営利セクター・団体について、海外の知見や企業との違い・共通点も含め、体系的に学べる。
- ・半年間団体の代表や運営幹部と過ごすことで、社会課題に取り組む非営利団体の実態、彼らの置かれている立場や考えを知ることができる。

実践：

- ・自分の強みや経験が非営利セクターでどう活かせるか試し、実際にどこで貢献できるのかを知れる。
- ・多様な分野・セクターの参加者で議論する中で、多様な視点に学び、自分の視点の特徴を理解できる。

出会い：

- ・普段なかなか出会うことができないが、共通した思いや社会課題への関心のある多様な人たちに会い、相談できる関係性ができる。

参加非営利団体：

俯瞰的な、システム全体を見渡す視座が得られ、ミッション達成に向けて、より本質的な意思決定ができるようになります。

学び：

- ・ガバナンスを体系的に学ぶことにより、経営・ガバナンス目線での視座が得られる。
- ・海外の知見、非営利と企業の違いや共通点を学び、自団体の経営・事業・組織について再考できる。
- ・組織やリーダーシップのあり方を内省する機会になる。

実践：

- ・団体から複数名で参加することで、経営目線で考えられる人が団体内に増え、代表一人に寄りかからず、チームで共通言語を持てる。
- ・多様な専門性・経験をもつ組織外の参加者と経営課題について率直に話すことにより、今まで気づいていなかった視点や問いに気づける。

出会い：

- ・相談できる・共創できる関係性の土台ができ、アドバイザーや理事などの候補が見つかる。

- ・他の団体について知ること、自団体の特徴や性質を再認識できる。
- ・外からどう見えるかを伝えてもらい、自団体や自身について客観視することで、自信や励みになる。

参加者の声・プログラム詳細

第1期開催レポート：<https://worldinyou.org/board-fellow-program-2021-report/>

2021年度（第1期）は「こどもを産んだ後も女性が本来の力を発揮し続けられる社会の実現」に向けて取り組んでいる団体に焦点をあてました。参加者の声やプログラムの詳細は[ボードフェロープログラム第1期のレポート](#)をご覧ください。

2022-2023年度 プログラム実施日時（予定）

以下、①②は参加者全員必須参加で③④は任意参加となります。プログラム詳細に関しては[第1期開催レポート](#)のp9-11をご覧ください。

① 全員合同開催・参加必須：

全体セッションは、ソーシャルセクターのガバナンス、経営、社会課題解決に関する知識習得やグループワークを中心とする。（月1回/3時間。開催日時は事前決定）

オリエンテーション	2022年9月1日（木）19時半-21時半
全体セッション#1	9月10日（土）10-13時
全体セッション#2	10月1日（土）10-13時
全体セッション#3	11月12日（土）10-13時
全体セッション#4	12月10日（土）10-13時
全体セッション#5	2023年1月14日（土）10-13時
全体セッション#6	2月18日（土）10-13時

② 団体による模擬ボードミーティング・参加必須：

各団体が模擬ボードミーティングを開催。団体のリアルな経営課題について参加者と共に議論する。（月1回/90分。開催日時は参加メンバー内で調整）

③ 個人によるテーマオーナー・セッション・任意参加：

参加者個人が関心あるテーマを持ち寄り、お互いの視点や強みを活かして議論を深める。
(開催日時は参加メンバー内で調整)

④ World in Youによる講演会や登壇イベント・任意参加：

- 毎月1回、女性の働き方に関連して取り組んでいる団体（BFPフェロー団体以外で、フェムテック、シングルマザー支援、ジョブマッチング、地方・地域密着型の取り組みなど）との対談イベントを6回シリーズで実施。（日時は追って決定）
- ボード、ガバナンス、リーダーシップなどに関する勉強会や対談イベントを実施。（日時は追って決定）

その他：

- プログラム前後のアセスメント、プログラム後ふりかえりインタビュー（必須）
- 参加団体、企業や個人との関係性継続・協働発展に向けた伴走（必要に応じて）
- プログラム後も有機的な協働や関係性の発展をゆるやかに続ける（任意参加）
- プログラム期間中およびその後半年間、World in Youが開催する研修やイベントへの無料ご招待（任意参加）

参加費

本プログラムは、参加する団体、企業、個人から参加費をいただいています。非営利組織向けのプログラムには、無料や低価格で参加できるものも多いですが、非営利組織にも対価をいただくことで、参加する皆さまとコミットしあいたいと考えています。ガバナンス分野の研修にとどまらず、継続的な経営の伴走ができる関係性を目指しています。

次のように3段階の参加費の設定をしています。

- ① 奨学枠団体を応援する、恩贈り価格： 30万円から
- ② 一般価格：30万円（5万円／月×6ヶ月）
- ③ 奨学枠： 応相談

問い合わせ先

info@worldintohoku.org

World in You代表理事 山本未生 ・ プロジェクト統括 三代祐子